

平成 28 年度 まちづくり移動町長室（富士見が丘 1・2・3、松根地区）

日 時 平成 28 年 8 月 20 日（土）14 時～16 時

場 所 ラディアン ミーティングルーム 2

参加者 25 名

児童館の利用について	
参加者	児童館は地域の子どもたちにとって大事な施設であり、子どもたちに聞くと外で遊べない雨の時などに特に必要だという話であった。しかし児童館には管理人がおらず、事業などが行われていない場合は閉まっている状況であるので、常に管理人がいて放課後子ども教室に利用したり子どもたちが自由に遊べたりするようにできると良い。
町長	児童館の利用について、子どもたちが使用するのをボランティアなどで見守ってもらえる方がいけば良いと思うが、これは地域の方の合意を得ながら進めなければならない。また町内各小学校で放課後子ども教室を行っているが、人件費との兼ね合いもあり、半分ボランティアとしてお願いしている状況である。地域の方と相談しながら進めていければ良いと考える。

公共施設再配置について	
参加者	6 月 17 日付け「町長の日記」の中に、議会の一般質問において役場庁舎の耐震化についての質問があったと記載されており、公共施設の再配置計画と平行して役場庁舎の耐震化または移転等の検討を進めたいとあった。また公共施設再配置・町有地有効活用検討委員会を傍聴したが、その委員会でも役場庁舎の問題は別途議論するので検討委員会では議論しないと説明があった。公共施設再配置計画では役場庁舎が重点項目であると考えますが関連はどうか。2 年間かけて公共施設再配置計画を作成するといっているのに、役場庁舎は 2 年を待たずに早急に耐震化又は移転を決めるということか。
町長	役場庁舎は耐震化ができていない状況であり、大地震が起きれば大変な状況になることが予想できる。議会では早期に耐震補強等をやるべきではなかったのかとの質問もあったが、小学校や他の公共施設を優先し、耐震化してきたことを説明した。県内の市町村で耐震化をしていない庁舎は二宮町を含め 2 つしかない状況であるが、役場庁舎の耐震性は現状では厳しいことも認識している。公共施設再配置計画の検討委員会では役場庁舎も公共施設の一つとして計画を検討・策定していくが、役場庁舎の耐震化は喫緊の課題であるため、今の時点から仮庁舎のようにしていくのか補強していくのかを早急に考えていかなければならない。庁舎で働く職員の安全はもとより、災害対策本部としての機能が

	滞らないことが重要であると考えており、後回しにはできない状況である。
参加者	財政的な課題もある中で役場庁舎についての対策を早急に図るとの話であったと理解したが、それにかかる期間ほどの程度を考えているのか。
町長	財政的な制限をどのようにしていくか検討している最中で、期間を明確には言えないが、時間をかけずに進めていく。

定住促進について	
参加者	人口ビジョンが示されているが、町の税収は人口に比例していると考えてよいのか。もし人口ビジョンのまま人口減少が進むのであれば、今まで計画していた施策は財政的に厳しくなると考える。人口増加を第一に考えると子育て世代や二宮町に住みたい方への施策を進めてほしい。町のプロモーション動画だけでは住むと決心するまでには至らない。もう一つ他に方法はないか。
町長	<p>町のプロモーション動画は町を知ってもらうための第一段階であり、プロモーション動画が移住に直結するとは考えていない。子育て施策等は近隣市町村に遜色なく行っているが、突出したことができていないので、多くの人から選ばれる町とはなかなかない状況である。ただ、町民の皆さんが感じていると思うがとても住みやすい街であるので、住みやすさを具体的にPRする必要があると考えている。今までは動画を含め知名度向上のイメージ戦略的な要素であったので、今後ここに住むとこういう生活が送れるなどの具体的な例を示して発信していきたい。</p> <p>下方に向かっていくグラフを見ると心配になるだろうが、今まで人口が増えて色々なものを増やしていった時代は終わらせ、住みやすさは確保した中で必要に応じたサイズに修正していく必要がある。ただ施設の数を減らすだけでいいわけではなく、地域活動や生活に支障が出てしまっただけでは本末転倒なので、きちんと利便性は確保していきたい。その中で、先ほどの児童館の話にしても、雨の日は地域住民で子どもたちのために鍵あけを交代でやってもらうなどの支援をしてもらえるとありがたい。どこを行政が受け持ち、どこに皆さんの力を発揮してもらうか、これから話し合っていきたい。</p>

鉄道対策について	
参加者	夜間の東海道線の下り電車は本数自体が少ないうえに平塚駅止まりが多いため、東京や横浜への通勤者にとって帰宅するのに不便である。このように不便では町への定住者は増えないのではないか。
町長	確かに東海道線の下り電車は時間帯により平塚駅止まりであったり、小田原駅までの急行電車であったりするため不便を感じる。また同様の意見をいただいているので、大磯町とも協議しながらJRに要望していきたい。

吾妻山公園について	
参加者	過去に吾妻山公園を県立公園にできないかと質問させていただいたが、民地があるためにできないとの回答があった。私としては民地を買収して県立化してもらいたい。横浜市以西の東海道線沿線の市町には県立公園があり、ないのは二宮町だけである。吾妻山公園は他の県立公園と比べても見劣りしない公園であり、多くの観光客が訪れているのに観光客にお金を使ってもらえる施設等がない。維持管理費等を考えても県立公園にできないか施策を考えていただきたい。
町長	借地・民地等や財政的な問題があり、すぐにできるものではない。吾妻山公園の維持管理方法については今後研究していく。

公共交通について	
参加者	平成 23 年から始まったコミュニティバスは大切な公共交通であると考えているが、利用したいと思えるためには、自分の意見等が反映された住民参加型の公共交通であることが重要である。要望としてはバス停の増加や回数券、交通系 I C カード、定期券等使用できるように検討してもらいたい。また 3 年後に利用者の年齢層も変化してきているので、PDCA により再度公共交通のあり方について考えていただきたい。
町長	今後も地区に出向いて話を進めていく。二宮町は地方の過疎地とも違い自家用車を使う人も多いが、コミュニティバスは地区で乗り支えてもらわなければ続けられない。地区の方の利便性等を考慮して乗り支えてもらえるよう進めていきたい。
参加者	コミュニティバスについて、運営費用の一部をバス路線地域住民の負担として良いのではないかと。地区を巡回するバスであれば、その地区の住民が利用の有無に関わらず一定料金を負担し、さらに利用者は乗車料金を支払い乗り支えられれば良い。町税だけでの運営が厳しかったのであれば、そのような考えがあっても良いと思う。
町長	様々な意見を考慮して進めていきたい。皆さんにどこまで乗り支えてもらえるかが課題だと思っている。

広場等の利用について	
参加者	富士見が丘 1 丁目は丘陵地帯で子どもたちが遊ぶ場所がない。過去に公園でボール遊びができるようネットを高く張ってほしいと要望したが、公園は運動する場所でないためできないとの回答であった。富士見が丘地区から運動のできる場所まで子どもたちが放課後に行くとなると大変であるので、各地区の公園

	の1つを運動公園にするなど、もっと自由に遊べるようにしていただきたい。
町長	現在、どの地区にどのような公園があるか調査し見直している。公園は事故等を防止する観点から禁止事項が多い。すべてを自由に叶えるのは無理かもしれないが、ボール遊びができる公園やそのほかメリハリをつけた考えが大切だと思っているので、今後進めていきたい。

問題提起について	
参加者	すべての町民が町の問題に関心があるわけではない。町の担当者が地域に出向いて「この問題はどのように解決すれば良いか」と具体的に町民に投げかけ、一緒になって考え解決していくといった雰囲気を作り出す方が良いのではないか。
町長	地区に出向いて意見をいただくことは重要であると考えている。今回のような地区別の移動町長室のほか、テーマ別の移動町長室も行っているので声をかけていただきたい。

意見に対しての結果について	
参加者	今回の移動町長室の参加者の意見に対して「検討する」等の回答になっていたと感じた。それらの結果をいただくと次も参加したいと思える移動町長室になると考えるがどうか。
町長	結果や経過等は議事録を通じて伝えていく。すぐに結果が出るわけではなく、何かに取り組むことで新たな問題が生じることもあるだろうが、地区を通じて回答するなど経過は伝えていきたい。

公共施設の再配置及び未利用地の活用について	
参加者	町の課題であった公共施設の再配置及び未利用地の活用について、具体的な検討が進んでいることに期待をしている。ただ検討する中で施設の利用者がいるので廃止できない等の話も出てくると思うが、そのような状況ではないと考える。「このような町にする」「公共施設の面積を70%まで削減する」等の具体的な目標値がなければ議論がまとまらない。廃止を決断したとしても利用者に理解してもらい合意をとって進めればよいのではないか。最近、特にそう感じるようになったので、意見として言わせていただいた。
町長	意見は参考にさせていただく。